

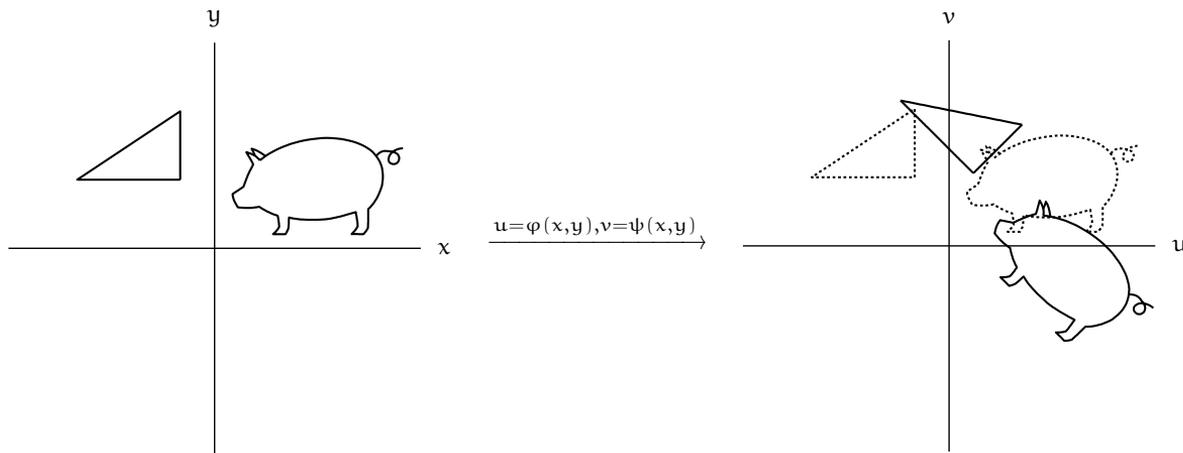
★ 変数変換の例 (レポートの問 5. 参照のこと)

(a) $u = x \cos \theta - y \sin \theta, v = x \sin \theta + y \cos \theta$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$)

原点の周りを反時計回りに θ だけ回転させる変換である (下図は $\theta = -\frac{\pi}{4}$).

これを行列で表すと,

$$\begin{pmatrix} u \\ v \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$



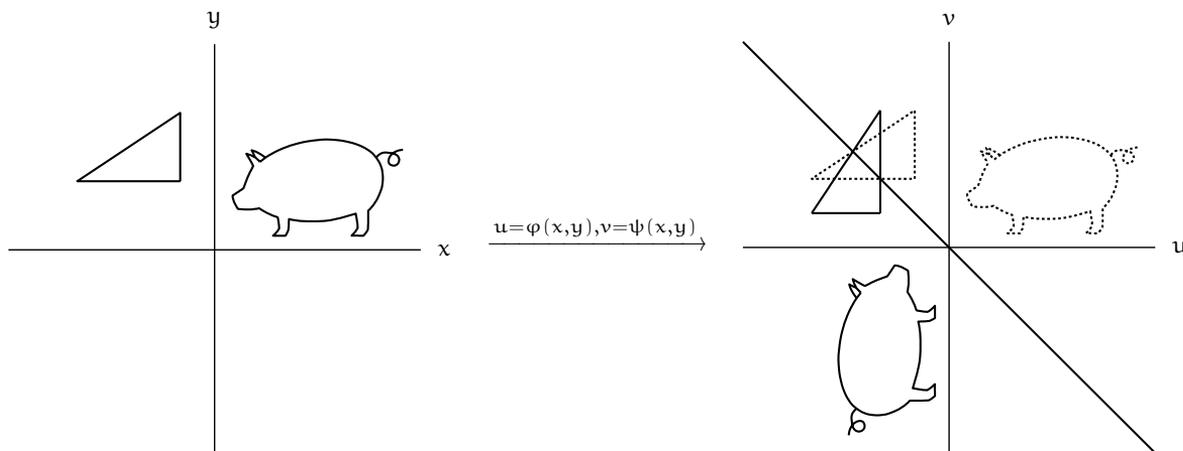
(b) $u = x - \frac{2\alpha(\alpha x + \beta y)}{\alpha^2 + \beta^2}, v = y - \frac{2\beta(\alpha x + \beta y)}{\alpha^2 + \beta^2}$ ($\alpha, \beta \in \mathbb{R}$)

ベクトル $w = \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix}$ と直交する直線 $\alpha x + \beta y = 0$ に対し対称に移す変換で (下図は $w = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}$, レポートでは $w = \begin{pmatrix} \frac{\sqrt{3}}{2} \\ \frac{1}{2} \end{pmatrix}$), これを鏡映変換という.

これをベクトルで表すと, $u = X - \frac{2X \cdot w}{w \cdot w} w$, ここで, $u = \begin{pmatrix} u \\ v \end{pmatrix}, X = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$.

これも行列の形にかける (計算してみよう):

$$\begin{pmatrix} u \\ v \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{-\alpha^2 + \beta^2}{\alpha^2 + \beta^2} & -\frac{2\alpha\beta}{\alpha^2 + \beta^2} \\ -\frac{2\alpha\beta}{\alpha^2 + \beta^2} & \frac{\alpha^2 - \beta^2}{\alpha^2 + \beta^2} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$



(c) $u = x^2 - y^2$, $v = 2xy$. ただし, $E = \{(x, y) \mid x > 0, y > 0\}$, $D = \{(u, v) \mid v > 0\}$.

これを複素座標平面 $z = x + iy$ で考えると, $f(z) = z^2$ と表せられ, 原点の周りを回りながら, 原点方向に向かって伸縮するような変換となる. また, この変換は図形の角度を保つため, 等角写像と呼ばれる. 実際, 三角形は変換後 歪んではいるが, 角度は変わっていない.

また, 上の二例とは違い, 行列で表わすことはできない.

